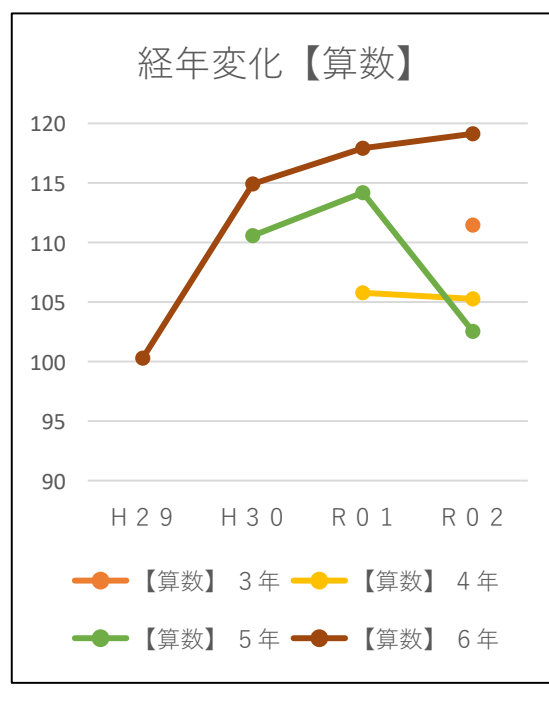
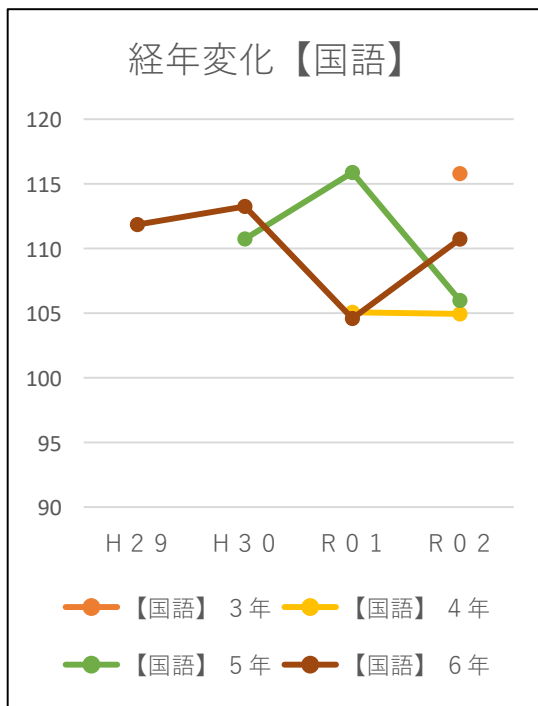


I 令和2年度末までの学力の状況把握(令和2年度 釧路市標準学力検査より)  
各学年の経年変化(目標値を100とした時の各学年の状況)



※釧路市標準学力検査結果の経年変化や到達度の割合から見られる各学年の特徴・成果・課題等

○3年生[現4年生]は、国語は目標値を15ポイント以上、算数は10ポイント以上上回った。

○4年生[現5年生]は、国語・算数ともに目標値を5ポイント程上回った。経年比較は昨年度と同程度となっている。

○5年生[現6年生]は、国語は目標値を5ポイント以上上回った。算数は目標値をやや上回った。経年比較は国語・算数ともに昨年度から下回った。

○6年生[現中1年生]は、国語は目標値を10ポイント以上、算数は20ポイント近く上回った。経年比較は国語は昨年度を上回った。算数は毎年右肩上がりとなっている。

II 各学年における成果と課題、令和3年度の実組 (○:成果 △:課題 ◇:継続する取組 □:新規の実組 ◎:改善する取組)

成果と課題について		今後の実組について
4年生	<p><b>国語</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○領域:「言語事項☆」「情報の扱い方」「書く☆」「読む☆」</li> <li>○内容:「漢字の読み」「漢字の書き☆」「言葉の学習☆」「物語を読み取る☆」「文書を書く☆」「インタビューの準備」</li> <li>△領域:---</li> <li>△内容:「内容を聞き取る」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇文章から条件に応じたキーワードを抜き出すなど、資料活用の問題を解く機会を増やしていく。</li> <li>□話し合いの内容を聞き取り、相手に伝わるように、自分の考えを理由を挙げながら話せるように、仲間と関わる学習過程の工夫を図る。</li> <li>□プリントやタブレットドリルを活用して、定着が不十分であった内容の習熟を目指す。</li> </ul>
	<p><b>算数</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○領域:「数と計算」「図形」「測定☆」</li> <li>○内容:「長さ・重さ☆」「たし算・ひき算」「かけ算」「わり算」「円と球」「時刻と時間」</li> <li>△領域:---</li> <li>△内容:「10000より大きい数」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇既習事項を想起させる等、導入の工夫を行う。</li> <li>◇考えの共通点・相違点に気付かせながら、考えを表現できるようにする。</li> <li>□数の相対的な大きさについての理解を深められるよう、課題設定の工夫をしていく。</li> <li>□プリントやタブレットドリルを活用して、定着が不十分であった内容の習熟を目指す。</li> </ul>
5年生	<p><b>国語</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○領域:「情報の扱い方」「書く」</li> <li>○内容:「内容を聞き取る」</li> <li>△領域:---</li> <li>△内容:「漢字を書く」「物語の内容を読み取る」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇説明文の学習において、段落の内容を理解して、文章を読み取ることができるよう授業改善を図る。</li> <li>◎物語の学習において、登場人物の行動や気持ちについて叙述を基に捉えられるよう、文章を読んでいく際の視点を明確にする。</li> <li>□プリントやタブレットドリルを活用して、漢字の読み書きや定着が不十分であった内容の習熟を目指す。</li> </ul>
	<p><b>算数</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○領域:「図形」</li> <li>○内容:「わり算」「小数」「垂直・平行と四角形」</li> <li>△領域:---</li> <li>△内容:「計算のきまり」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇児童が課題を設定できるような導入の工夫を行う。</li> <li>◎自分の考えをノートにまとめたり説明したりする機会や、仲間と関わる機会を設ける。</li> <li>□プリントやタブレットドリルを活用して、定着が不十分であった内容の習熟を目指す。</li> </ul>
6年生	<p><b>国語</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○領域:「言語事項」「話す・聞く」</li> <li>○内容:「内容を聞き取る」「漢字の読み☆」「漢字の書き☆」</li> <li>△領域:「情報の扱い方」「書く」「読む」</li> <li>△内容:「物語の内容を読み取る」「文章を書く」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇言葉を正しく使えるよう、語句を丁寧に扱う。</li> <li>◎物語の学習において、登場人物の様子について描写を基に捉えられるよう、文章を読む際の視点を明確にする。</li> <li>◎プリントやタブレットドリルを活用して、定着が不十分であった内容の習熟を目指す。</li> <li>□自分の考えを、理由を明確にして書く機会を設定する。</li> </ul>
	<p><b>算数</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○領域:「図形」</li> <li>○内容:「分数と小数」「合同」「図形の角☆」</li> <li>△領域:「データの活用」「図を活用した立式」</li> <li>△内容:「整数の仲間分け」「平均」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇計算の仕方や問題に対する考え方を記述する際、順序に気を付けて説明できるようにする。</li> <li>◎プリントやタブレットドリルを活用して、定着が不十分であった内容の習熟を目指す。</li> <li>□数直線や図を見て立式できるように、授業改善をしていく。</li> </ul>

【低学年の指導について】

新1年生	<p><b>国語</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□入学から6月までの入門期においては、共栄小学校の「学習の手引き」にある学習規律について学ばせるとともに、安心して学べる雰囲気・環境づくりに努めたい。その後、文字を書く・文章を読む・文章を書くなど、学習の基礎・基本の学びに比重を多くしていくとともに、学習の楽しさを味わわせることで、小学校での学習の基礎作りをしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□絵図を活用したり具体物の操作をしたりする活動を大切に、数や形・量と測定等の感覚を豊かにさせたい。また、特に加法・減法の計算技能の習得に力を入れていきたい。そのために、単元によっては、少人数学習の形態で行えるようにしたい。</li> </ul>
	<p><b>算数</b></p>	
2年生	<p><b>国語</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○どの領域においても、概ね内容が身につけている。</li> <li>○言葉の意味に気をつけながら、文字や文を丁寧に書くよう、ノート指導を継続してきた。少しずつ定着してきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇一つひとつの言葉を大切に文章指導を継続をしていきたい。</li> <li>◇自分の考えを書いたり、発表をしたりする場の設定と充実を目指したい。</li> </ul>
	<p><b>算数</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○どの領域においても、概ね内容が身につけている。</li> <li>○ICT・教材教具を効果的に活用してきた。</li> <li>○問題から作図を行い、立式できるように取り組んできた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇たし算・ひき算・かけ算の基本問題に繰り返し取り組みませ、定着させたい。</li> <li>◇今後も、図を用いて、問題の意味を的確に捉えさせていく。</li> </ul>
3年生	<p><b>国語</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○言葉の意味に気をつけながら、文章を丁寧に書くよう指導してきた。</li> <li>○物語や説明文の学習を通して、小グループでの話し合いの仕方が身につけてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇今後も、言葉の意味を大切に文章を書かせていきたい。</li> <li>□学習内容に応じて交流の仕方の工夫と、思考ツールを活用し、より充実した話し合い活動を行っていく。</li> </ul>
	<p><b>算数</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○図を見て立式したり、場面の条件に合う問題作りをしたりする機会を増やしてきたので、問題の意味を捉えて立式していく力が伸びてきた。</li> <li>△長さ・水のかさ等において、単位変換の内容のところが定着が今ひとつだった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇今後も、テープ図を用いて、問題の意味を的確に捉えさせていく。</li> <li>◇九九の定着率を更に高められるよう、継続指導していく。</li> <li>□定着率をレディネステスト等で確認しながら、手厚く指導していく。</li> </ul>

### Ⅲ、学校全体における成果と課題、今後の取り組みについて

#### ① 成果と課題について

(授業づくり・環境づくり・習慣作り) ○:成果 ▲:課題

授業づくり	<p>○校内研修では、国語科を窓口として「主体的に考え、仲間と共に学びを深めていく子どもの育成」に取り組んできた。授業公開や指導主事の助言等を基に授業改善に取り組んできた。</p> <p>○板書についての研修を行い、児童のノート記述との関連を持たせながら、各学級の板書のよさや工夫について共有することができた。</p> <p>△「学習の手引き」を基に、学習規律や授業づくりについて取り組んできたが、担当からの周知が足りずに、共通理解のもとに取り組めなかったこともあった。</p> <p>○算数の問題データベースの活用により、学習内容の習熟を図った。</p>
環境づくり	<p>○校内ノート展を実施することで、ノートの美しさだけでなく、記述内容から学習の進め方や工夫の仕方を、児童・保護者・教職員が共通理解できるようにした。</p> <p>○大切な学習内容や新しい学習事項についての掲示活動により、児童・保護者・教職員の関心が高まるようにした。</p> <p>○漢字検定や算数検定に、力試しに意欲的に挑む児童が多かった。</p> <p>○各クラスICT機器を設置し、分かりやすい授業を意識することができた。</p>
習慣づくり	<p>△家庭学習の取り組みについて、学校評価では、子どもは毎日取り組んでいる満足感を得ているが、保護者は時間・内容で不満があるギャップが見られた。</p> <p>△各学級1名の自主学習ノートを掲載したお便りを発行し、家庭学習を取り組む上でのモチベーションの向上や、家庭学習の方法が分からない児童への手立てとなるようにしたが、児童によって取り組みに差が出てしまった。</p> <p>○希望者の放課後の学習を保障する取り組みができた。</p> <p>○「元気カード(生活リズムチェック表)」の取り組みを年4回実施し、生活習慣や体力向上に努めた。新型コロナウイルス感染症の予防のため、生活リズムの乱れが心配されたが、回を重ねるごとに改善されていった。特にノーゲームデーの取り組みがよかった。</p>

#### ② 改善の方向性について

(◇:継続する取組, □:新規の取組, ◎:改善する取組 等)

授業づくり	<p>◇校内研修では、引き続き国語科の授業づくりに取り組んでいく。本年度は、昨年度の取り組みを礎に「目的意識を持って、仲間とかかわる学習過程の工夫」に力を入れ、考えの深まりや変容が見られるような授業作りをしていく。</p> <p>◇校内研修以外の内容のこともミニ研修を行い、授業改善に取り組んでいきたい。</p> <p>◎「学習の手引き」の共通理解を図り、系統的な指導を行えるようにしたい。</p> <p>◎算数の問題データベースの活用とともに、各教科でタブレットドリルの活用も図ることで、学習内容の更なる定着を図っていきたい。</p>
環境づくり	<p>◇各学期に定期的に校内ノート展を計画する。実施の際に、ノート指導についての共通理解を図りたい。</p> <p>◇大切な学習内容や新しい学習事項についての掲示活動を続け、絶えず情報を更新して、児童・保護者・教職員の関心が高まるようにしたい。</p> <p>◇今年度も、子どもたちの学習意欲を大切にし、「力試しの場」として、本校を会場にして、漢字・算数検定を実施していきたい</p> <p>◎児童一人一台の端末保有により、ICTのより充実した指導が行えるように情報提供していく。</p>
習慣づくり	<p>◎4月に各家庭に「家庭学習の手引き」を配付し、各家庭ではこれを参考にし、学年に応じた質・量の見直しをしてもらう。また、子どもの家庭での取り組み例を、お便りや懇談等を通して家庭に知らせ、家庭学習の取り組みの参考にできるようにしたい。</p> <p>◎昨年度にも、独自に家庭学習の取り組みをしていた学年・学級もあったが、今年度は、子どもたちの学習意欲が更に高まるように、お互いの取り組みを情報共有できるようにしたい。</p> <p>◇外部講師や本校教諭による放課後学習を継続し、自主学習の困難な児童や補充を希望する児童を支援していきたい。</p> <p>◇「元気カード(生活リズムチェック表)」の取り組みを継続し、年5回の実施ができるようにしたい。</p>